

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 5月18日更新

事務事業名	小学生稲作体験助成事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	6	産業の健康			所属部	事業部	課長名	塚本 健洋
	施策	26	農業の振興			所属課	農政課	担当者名	大久保 志穂
	施策の柱	70	後継者の育成			所属班	農政班	(内線)	1174
予算科目	会計一般	款6	項1	目8	事業連番10276	根拠法令	成果優先度評価結果 : ① コスト削減優先度評価結果 : ⑥		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	農業・農村理解のため米作り・稲刈り体験活動支援事業食育の重要性についてあらゆる場面で言及される機会が多くなってきている。子どもたちの教育として大変重要と考えている。
【業務の流れ】	J A 菊池青年部及びPTA主催による市内4小学校児童の田植え、刈取り体験に対する事業費の補助金支払い事務(申請書の確認、起案、決裁)
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	子どもたちの教育として大変重要と考えている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動)28年度実績(28年度に行った主な活動)(DO)	・補助金支払い事務	29年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) J A 合志中央支所青壮年部及びPTAからの事業申請受付から補助金確定までの一連事務
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)件	予算の主な増減の理由
→ア:補助金交付件数	→イ:	
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	市内小学生	②対象指標(対象の大きさを表す指標)(単位)校
→ア:米作り活動を実施した学校数	→イ:	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	・稲作体験を通じて、農業、農作物、食料について学習する機会を提供する。	③成果指標(意図の達成度を表す指標)(単位)%
→ア:学習の機会を得た児童の割合	→イ:	
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠 主催側の小学校及び学年の指定のため。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	26年度実績(決算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	28年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	30年度予定	31年度見込	32年度見込
①活動指標	ア	件	2	2	2	2	2	2	2	2
	イ									
②対象指標	ア	校	4	4	4	4	4	4	4	4
	イ									
③成果指標	ア	%	14	15	14	14	14	14	14	14
	イ									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	147	147	147	147	147	147	147
	(A)事業費計	千円	147	147	147	147	147	147	147	147
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	2
	延べ業務時間	時間	32	32	40	7	40	40	0	
	(B)人件費計	千円	127	118	159	0	159	159	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	274	265	306	147	306	306	147	

事務事業名	小学生稲作体験助成事業	所属部	事業部	所属課	農政課
-------	-------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】申請がある見込みのため <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 現在の体験回数を増やすためには、体験圃場等の問題もあり、現在の規模が適当であるため。また、決まった学年での定例行事であれば殆どの生徒が一度は稲作を経験することとなる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 稲作体験を引き受けてくれる団体が無い。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現在地域の子ども会等で体験学習を実施しているところもあるが、水田(圃場)の借り上げ・肥培管理等の課題もあり実施にいたっていない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 補助金交付事務で必要最小限である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 体験を希望している小学校には、事業が行き渡っているため。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市の基幹産業である農業について、子ども達に理解を促すこの事業は行政が行うにふさわしい事業である

3 評価結果の総括 (CHECK)

例年通りの事業を行うことができた

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善 (有効性改善)
事業のやり方改善 (効率性改善) 事業のやり方改善 (公平性改善)
現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策